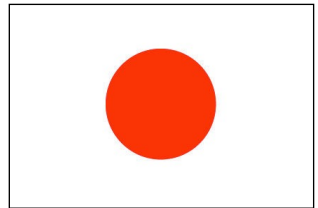




ウガ広報



From Uganda | To Japan | Ono Kenta Menya

みなさんこんにちは！平成27年度1次隊の理科教育でアフリカのウガンダに派遣されている小野健太です。こちらはウガンダに来て2度目の雨季に入り、朝晩は涼しく過ごしやすくなりました。今回はウガンダにおける季節の移り変わり、最近の様子などを中心にお伝えしていきたいと思います！

ウガンダの季節

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
秋田	冬			春			夏			秋		冬
ウガンダ	乾季		雨季			乾季			雨季		乾季	

Fig.1 秋田とウガンダの季節の分類

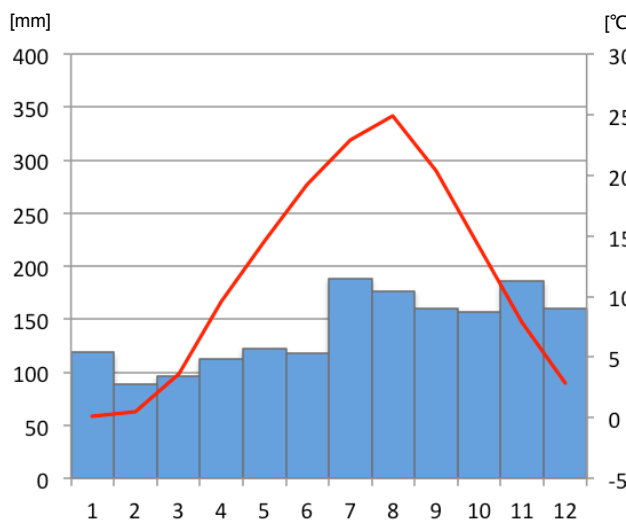


Fig.2 秋田の雨温図

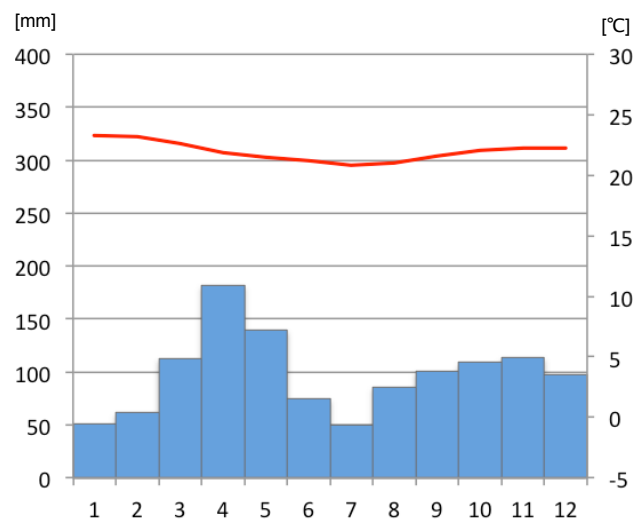


Fig.3 ウガンダの雨温図

秋田とウガンダの気候比較

上のグラフの赤線は各月の平均気温を、青の棒グラフは各月の降水量を示しています。グラフをみると、ウガンダでは1年を通じて気温がほぼ一定で20°C前後となっています。乾季は日中の気温が高くなることも多いですが、乾燥しているため、朝晩は気温が下がり涼しくなります。これは秋田でもよくある夏の放射冷却と同じ感じです。ただ、乾季は一定して乾燥しているため、日本でみられる蒸し暑い熱帯夜はなく、夜に暑くて寝苦しいことはありません。

雨について見てみると、ウガンダでは乾季と雨季で雨の量が顕著に変わります。雨の降り方についても、雨季という日本の「梅雨」をイメージしがちですが、ウガンダでは夕方や夜などの決まった時間帯にまとまった強い雨が降るという感じです。私の地域では夕方4時～6時くらいに降ることが多いです。降る前の風向きや気圧の変化が顕著なので「これから降る」と容易に判断できるため、傘を持ち歩く人は全く見られません！また、雨季でも日中は晴れることが多いので、洗濯物についても悩まされません。ただ、授業中に雨が降ると、教室はトタン屋根のため、騒音が大きく大声を張り上げて授業しています。（あまりに強い雨だと授業になりません…）



ウガンダで誕生日！

先月の31日にウガンダで誕生日を迎えました！3月31日という誕生日は日本では年度末に当たるので、学校で誕生日を祝ってもらうというのは初めての経験。その日あった授業では生徒にHappy birthdayを歌ってもらうサプライズがあり、感動しました！また、今月の12日に先生方からケーキのサプライズ。どうやら私の誕生日はイースター休み明けだったので、先生方も忙しかったのだとか。左のケーキ、デコレーションは生クリーム…ではなく、砂糖菓子！（クリスマスケーキなどに乗っているサンタさんのイメージ）切り分けるときにボロボロになって苦労しました（笑）中はレーズンのパンケーキ。1週間くらいは保存がききそうです。

ウガンダ流タイムマネジメント～中間試験～

1学期も残すところ1ヶ月ほど。そんな中、学校では中間試験が行われました。昨年末から私もテスト作成を任せられ、今回も自身の担当学年のテスト問題を作りました。その中間試験の予定が立てられたのが今月初め。しかし先生方のテストの問題作成が間に合わず一週間延期し、ともすれば授業数が減るとの意見があり、結果平日の始業前と授業後にテストを行うことになりました。そのため朝6時半から準備を初め、放課後も遅い日は7時近くまでテストが行われました。遠くから通ってる生徒は遅れてきたり、担当の先生がいなかったり、テストが印刷されていなかったり…ハプニング続きでしたが、15日に無事にテストが終えられました。そして、再来週からは期末テストが始まる予定です。

KISIKI COLLEGE NAMUTUMBA
MID OF TERM I EXAMINATION 2016
S.2 CHEMISTRY TIME : 1 HOUR

NAME : _____ CLASS : _____

Instructions:
This paper consists of two sections A and B.
Answer all questions in both sections to answer sheet.

SECTION A (1×20 mks)

- Which one of the following gases relights a glowing splint?
A. Oxygen B. Carbon dioxide C. Hydrogen D. Nitrogen
- Which oxide cannot dissolve in water?
A. Sodium oxide B. Sulphur trioxide C. Iron(II,III) oxide D. Calcium oxide
- Choose the separating method of these mixture from below.
(i) Alcohol (ii) Iron and sand (iii) Salt and naphthalene
A. Decanting B. Chromatography C. Sublimation D. Evaporation
E. Fractional distillation F. Magnetism G. Crystallisation
- Which one of the following matters is not pure substance?
A. Water B. Salt water C. Copper oxide D. Carbon
- If there are water, anhydrous cobalt(II) chloride changes the colour from:
A. blue to pink B. blue to white C. white to pink D. white to blue
- The lightest gas known is
A. Hydrogen B. Oxygen C. Nitrogen D. Helium
- Choose the type of these oxide from below.
(i) Zinc oxide (ii) Sulphur trioxide (iii) Hydrogen monoxide (iv) Magnesium oxide
A. Acidic oxide B. Basic oxide C. Amphoteric oxide D. Neutral oxide

ウガンダの名前・クラン

ウガンダには50を超える部族が存在します。その部族ごとに言語があるなど、異なった文化を持っています。私のいるナムトゥンバは「ソガ族」の住む地域で、主に「ソガ語」が話されています。お隣にして最大の部族である「ガンダ族」と共通点・類似点が多く、その一つに名前に「クラン」と呼ばれる氏族制度があります。全ての人がいずれかのクランに所属しており、同じクランの人は親戚のように扱われます。全てのクランには意味があり、牛や鳥、ヤギなどの動物のクラン、植物や昔の王族のクランなど様々です。このクラン制度は単なる分類ではなく、生活面でも大きな意味を持ちます。結婚においては、同じクラン同士では結婚ができません。また、子供には夫のクランが与えられます。夫が「牛」のクランで嫁が「ヤギ」のクランであれば、子供は「牛」クランの名前が与えられます。

また、自分のクランと関連するものを尊重しなくてはなりません。例えば、「牛」のクランの人は牛を殺した

り食べたりできません。（ただ、牛にも種類があるため、自分のクランと一致しない牛は食べることができます）

私のウガンダネームは「メニヤ」クランは「Mwisemena」で、ソガ族の昔の王族由来のクランだそうです。また、名前は伝統的な名前らしく、日本で言うところの「太郎」のような感じでしょうか…。クランによって付けられる名前が決まっているので、生徒の中にも同じ「メニヤ」という名前が何人かいました。その際は宗教名などで呼び分けるようです。たまに街中で話をすると「お前のクランは何だ？」と聞かれる事があります。これは兄弟かどうかを知るほかに、結婚相手として成立するかどうかの確認の意味もあるそうです（笑）

また、ウガンダの名前にある特徴として、双子には決まった名前が与えられます。双子の兄にはワイスワ、弟にはカトー。双子の姉にはバビリエ、妹にはナカトーと名付けられます。街中でもこれらの名前はよく聞くので、双子であることがすぐにわかります。双子であることはおめでたい事であるらしく、これらの名前は縁起がいいものとして扱われているようです。

先日中間試験が終わった事もあり、今週末は生徒がグラウンドで元気にサッカーをしている様子が見られました。こうした光景は世界共通のようですね。そんな中テストの解説をして欲しいと言ってくる熱心な生徒も見られ、空き時間を使った指導など、活動の幅が広がってきたと感じます。1学期もあと少し、体に気をつけて頑張っていきたいです。

平成27年度1次隊 理科教育 小野健太